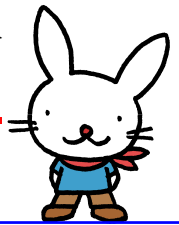




We こ た つ

Love



— 日本福祉大学 子ども発達学部ニュースレター —

第3号 2009年7月1日発行

開設2年目をむかえて

— 「福祉系」の総合大学にふさわしい子ども系学部をめざして—

学部長 亀谷 和史



子ども発達学部は、開設2年目をむかえました。

4月に実施した2回目の「新入生セミナー」も、充実した内容で終了しました。今年、上級生アシスタントとして、新2年生も16名参加し、学生生活アドバイスを行ってくれました。頼もしい先輩らしくふるまえ、とてもよかったです。

今年度は、保育専修で4週間の保育所実習(11月・2月)が始まります。初等教育専修でも、いよいよ「教職インターンシップI(学校体験)」を行います。これは、地元、美浜

町立の6つの小学校と2つの中学校に協力を得て実施の運びとなりました。心理臨床学科でも、教職課程のカリキュラム(中学社会科・高校公民科・特別支援学校教諭)がスタートします。また協定を交わしたビーチランドのおもちゃ王国で、プレイアシスタントとして「親子ふれあい体験学習」も実施の予定です。

「ふくし」の総合大学にふさわしい、社会福祉も学べる新たな子ども系の学部をめざして、今年度もがんばって取り組んでいきたいと思っています。



調印式当日の様子

日本福祉大学と南知多ビーチランド & おもちゃ王国が協定書を締結!

2009年3月18日に南知多ビーチランドにおいて、交流協定書の調印式が行われました。今後、南知多ビーチランド&おもちゃ王国が本学の学習のフィールドとして活用できるようになります。

詳細は次号にてお知らせします。

新入生セミナーに行ってきました!



4月15日、16日の1泊2日の日程で子ども発達学部の新入生と教職員とで愛知県の西浦温泉(ホテルたつき)へ「新入生セミナー」に行ってきました。前日の雨から一転した爽やかな青空の中、充実した楽しい2日間を過ごすことができました。

今年、上級生アシスタント16名が同行し、上級生による様々な企画が行われ、大いに盛り上がりました。

新入生の感想

上級生企画のとき、先輩方はとてもハキハキしていてとてもカッコいいなと思いました。私は直接しゃべる機会にはなかったのですが、自分もあんな風になれたらいいな、と思いました。中村友美(大和田ゼミ)

実際の現場で働いている方の話を聞いて、どんなことが大変なのかや、今のうちにボランティアなどやれることはやった方がいいよなどのアドバイスが聞けて参考になりました。岩崎智(高須ゼミ)



★ 到着後の上級生企画 ★

西浦温泉到着後、先輩たちが作った「美浜っふ」を使って、美浜の周辺について学生の視点からユーモア溢れる説明がありました。○○ラーメンが美味いよ～! 穴場はスポットは・・・



ホテルから見る夕日に、ついバンザイ?

新入生セミナー(第1日目続き)



野間さんの講演と紙芝居(子ども発達学科)



宿泊先のホテルたつき

子ども発達学科と心理臨床学科に分かれて、講演会が行われました。



本学卒業生の直井さんによる講演(心理臨床学科)



ゼミ別交流会で、まずは親睦を深めよう!



第2日目

2日目は朝から御津体育館でドッチボールのルールで、フリスビーを使います。

ふわふわだから、当たっても痛くないよ。



夕食の様子。さすがに300名を超える人数の配膳は圧巻..!



ゼミ別のトーナメント戦。水野ゼミが見事優勝!



みんなと将来の話などをすることによって、みんなの心理学への思いを知ることができて、改めてこの大学は本当に良い人たちが集まっているんだな~と思いました。この新入生セミナーによって、これからの心理学への意識がさらに強くなりました。4年間しっかりがんばりたいです。藤田杏(前原ゼミ)

上級生の皆さん
ありがとうございました。!!

今回の上級生アシスタントを通して、計画する事の難しさから人に何かを教える事の難しさなど苦労する面もありましたが、全てを終えての達成感は何物にも変え難いものを感じる事ができ、とてもいい経験をさせて頂きました。 関口 諒平

上級生アシスタントとして計画と実践を体験してみて新入生に役立つ情報を伝えることの難しさや楽しさを経験できました。また、今後もこのような企画に積極的に参加して将来の自分に役立たせるようにしていきたいです。 増田 秀仁

皆さん、お疲れ様でした~!



教員採用試験 合格体験記 (名古屋市特別支援学校)

私が採用試験のための勉強を始めたのは3年で教友ゼミに入ってからです。2年の頃は、サークル活動の陸上競技に一番力を入れていました。試験の面接でも陸上競技のことは多く聞かれました。全力で取り組んだことをしておくことは、全力でやってこそ物事が楽しめるということに気づけるし、それは教師となる者として大切だと思います。大学2年は一番何でもできる時期です。本を読んだりボランティアをしたり、様々なことに取り組む中で色々なことを感じたり考えたりすることが、採用試験以上に後々に繋がっていくものだと思います。

また、教職を志し学んでいくほど、教師という仕事の重さに不安や悩みが出てくるかもしれません。私も教師になる目標が何度かぐらつきました。しかし、どうして教師になりたいか、どういう教師になりたいかを思い描いて、目指した道を進んでほしいと思います。最後に、教師を目指す仲間が本当に大切です。私は共に目指す仲間がいたからこそ、ここまで来ることができたと思っています。仲間を沢山作って、悩みを打ち明けたり情報交換をしたり、支え合って目標を達成していきましょう。

社会福祉学部 社会福祉学科 笠原千里(2009年3月卒業)



保育実習を終えて

私は保育の実習が始まる前に授業や本、インターネットなどで保育に関する様々な知識をしっかりと身につけ、実習に臨みました。いざ、実習が始まると学んだことが役立ち、様々な場面に対応することができました。

また、現場でしか経験できないことを数多く経験させていただきましたし、現場だからこそ分かる園児とのコミュニケーションのとりかたや先生同士の連携のとりかたなどを学ぶことができました。実習を通じ、私自身大きく成長できました。

社会福祉学部社会福祉学科4年 二之夕卓義

私は、一歳児と三歳児クラスで保育実習をしました。実習では、子どもと過ごす時間の中で、一歳児と三歳児では大きな差が出ることを感じました。その中で保育士は、年齢に合わせた、子どもの力を引き出せる保育指導をすることが大切だと感じました。

また、保育士は子どもに直接関わる仕事ばかりではなく、掃除や教材の準備、保護者支援など、大切な仕事が多くあると感じました。

保育実習では、子どもたちと一緒に楽しく学び、子どもの成長過程について学ぶことができたとともに、保育士の仕事についても体験し、学ぶことができ、とても実りのある実習になったと思います。

社会福祉学部社会福祉学科4年 松嶋希実

子ども発達学論集 創刊号を発刊！



子ども発達学部の設置に伴い、この度、関係教職員により「子ども発達学論集」が刊行されました。創刊号には、新学部開設記念事業での茂木俊彦先生のご講演を収録したほか、8名の執筆者が6つの論文・動向紹介に健筆を奮っています。

今後年1回のペースで発行して参りますので、次号以降にもどうぞご期待下さい。

実習ワンポイント！

子ども発達学部における実習期間は次のようになっています。ただし、取得する資格・免許の組み合わせにより実習期間が異なることがあります。

- ★保育士資格 6週間
- ★幼稚園教諭 4週間
- ★小学校教諭 4週間
- ★中学・高等学校教諭 2～3週間
- ★特別支援学校教諭 2週間



子ども発達学部 FDフォーラムが開催されました！



2009年1月15日に、15号館図画工作室でFDフォーラムが開かれました。参加者は学生41名、教員14名、職員1名の計56名。FDフォーラム実行委員が中心になって準備を進め、実施の運びとなりました。くじ引きにより参加者を6つのグループ(学生・教職員混合構成)に分け、「あなたが大学に求めるものは何か」について、グループごとにKJ法による意見の整理を行い、模造紙上に図式化しました。これをグループごとに発表し、参加者から発表に対する意見・感想が出されました。学生参加者からは、多様な意見に触られたことや教員との交流ができたことを評価する意見が多く聞かれました。本フォーラムの準備過程・実施そのものがひとつの交流の場となったことは、学びの場に対する関わり意識を向上させるきっかけになり得たのではないかと思います。参加者の皆さん、いかがでしょうか？

学部FD委員 吉原智恵子

オープンキャンパス情報

★ 7月18日(土)、19(日) 9:45～

★ 8月23日(日) 10:00～

★ 11月7日(土) 10:00～



何れも美浜キャンパスにて、子ども発達学部の**体験講座**を開催します。詳細は、大学のホームページをご覧ください。11月7日(土)は、美浜キャンパスでは大学祭が行われています。

AOガイダンス日程(美浜キャンパス)

7月18日(土) 11:00～

8月1日(土) 14:00～

8月23日(日) 11:00～

8月30日(日) 14:00～

9月20日(日) 14:00～



教員紹介



吉原智恵子(心理臨床学科)

1年生には「心理学研究法」や「心理学統計法」、2年生には「心理学実験・実習」や「心理学研究法演習」、「総合演習Ⅱ」でお会いします。今の研究活動の原点は、小学生時代に熱中した「ベルサイユのばら」にあるといっても過言ではありません。その「ベルばら」を通じて知った宝塚歌劇にも熱を入れ、天海祐希さんの大ファンに。どんなに忙しくても寝不足でも、彼女の出るドラマは録画して必ず観ています。



渡辺頭一郎(子ども発達学科 保育専修)

保育の現場は保育所や幼稚園だけではなく、障害児施設や児童養護施設などでも、子どもたちを保育し、発達を支える仕事が必要です。また、子育てを支えるために保護者にかかわったり、地域の連携をつくりだすことも大切です。私が担当する「児童福祉論」「家族援助論」では、乳幼児から学齢期・思春期までを視野に入れて、幅広い学びを得られるように努めます。子どもたちが子どもらしく、生き生きと生活できる社会のあり方を考えてみませんか。

ニュースレターのタイトル「We ♥ こたつ」は、学生からの公募で決定しました。子ども発達(「こどもはっ「たつ」)の「こたつ」です。暖かい団樂のイメージと重ねているそうです。



編集長: 亀谷和史(学部長)
編集委員: 遠藤由美(子ども発達学科)
塩野谷斉(子ども発達学科)
吉原智恵子(心理臨床学科)
佐藤雅信(事務長)

